

第2回北上市文化芸術推進会議概要報告書

日時 令和5年12月8日(金)
午後2時～4時
場所 北上市生涯学習センター
第1学習室

【出席者】

中川幾郎会長、役重眞喜子委員、昆野世宙委員、八重樫信治委員、阿部大司委員、伊藤さゆり委員、豊泉豪委員、高橋京佳委員
後藤幸生課長補佐、小泉由美子係長

【会議の主旨】

- ・令和4年度文化芸術関連事業の点検・評価について
- ・令和5年度新規事業の結果報告について
- ・令和6年度新規事業の企画書について

【主な意見】

(1) 令和4年度文化芸術関連事業の点検・評価について

- ・条例や北上市文化芸術推進計画に基づいて施策が進められているかどうかを見ていく。
- ・評価基準があいまいな部分があるので、目標数値の80%が達成されていればAのような科学的根拠がほしい。
- ・今後、コロナを要因としないCの事業が出てきた場合に、改善について委員の意見をもらったほうがよい。

(2) 令和5年度新規事業の結果報告について

- ・資料に「現状と課題」を掲載したほうがよい。計画のどの部分に遅れがあって、どう補うための事業かを明確に。
- ・深堀鑑賞会はターゲットにズレが生じたとのことだが、知識のない方向けであったならもっとPRの工夫を。他事業と連携して実施したことは評価できるので、継続できればよい。
- ・多様性に配慮した文化芸術応援コンサートは、よい趣旨だったと思う。
- ・障がいや未就学児に配慮したよい試みだったと思うので評価したい。
- ・複合イベントとしたことで、普段興味のない文化芸術を知る良い機会になったと思う。一発花火で終わらせないようにしてもらえるとよい。

(3) 令和6年度新規事業の企画書（案）について

- ・ワークショップは若者の興味をひく企画だと思う。うまくいってほしいと思う。
- ・文化芸術の推進がメインだが、親も参加できる内容ということで子育て応援の意味もあると思う。
- ・内部スタッフだけで大変な場合は、外部のNPO等と組んでやるなどの検討を。
- ・鬼のモニュメントプロジェクトは、ターゲット設定に工夫を。
- ・さくらホールは、音楽や演劇に強いが、美術系に親しむコンテンツがもう少しあればと思うので、民間施設も含めて美術系の展示物を広く見せられる機会があるといい。

(4) その他のご意見について

- ・地区交流センターや民間の文化芸術事業を把握しておくことは非常に重要である。団体自治と住民自治がある中で、住民自治と競合させる必要はないので、今後の検討に必要。
- ・民間事業でやれない部分を行政が補助する形が理想的である。
- ・例えば就学援助家庭やひとり親家庭などへパワーを与える文化芸術の供給を行ってほしい。
- ・北上市はどのジャンルが強く、どのジャンルの施策に弱いのか、見取り図的なものがあるとよい。